

(様式1)

「絆の作り手育成プログラム研究指定校」実績報告書（3年次）

1 学校名等（R5.5.1現在）

学校名	木津川市立 加茂小学校							校長名	田中 成一	
所在地	〒619-1152 京都府木津川市加茂町里西上田11番地1 電話 (0774)76-2101 FAX (0774)76-8002									
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計	教職員数	
学級数	1	2	2	2	1	2	2	12	20 ※校長・教頭を含む	
児童生徒数	32	41	38	43	30	46	14	244		
連携先 <small>(文化財所有者等)</small>	大仏鉄道									

学校名	木津川市立 恭仁小学校							校長名	木村 康宏	
所在地	〒619-1106 京都府木津川市加茂町例幣中切31・32 電話 (0774)76-2103 FAX (0774)76-8230									
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計	教職員数	
学級数	1	1	1	複式	1	1	1	6	10 ※校長・教頭を含む	
児童生徒数	9	7	9	7	5	9	2	48		
連携先 <small>(文化財所有者等)</small>	恭仁宮跡									

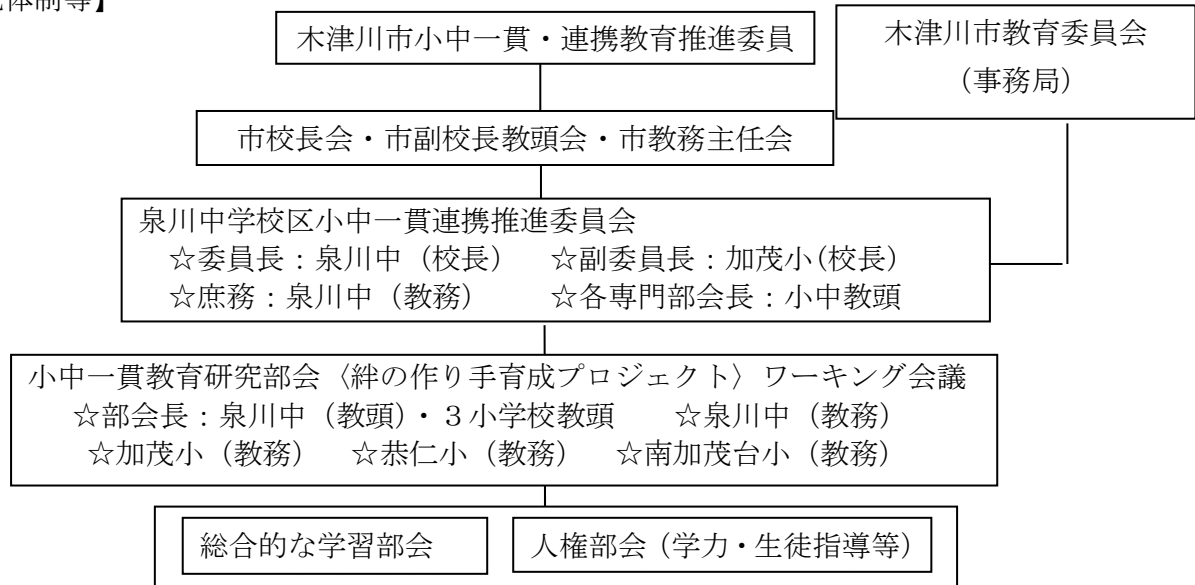
学校名	木津川市立 南加茂台小学校							校長名	高橋 敬子	
所在地	〒619-1127 京都府木津川市南加茂台12丁目11番地 電話 (0774)76-3400 FAX (0774)76-8232									
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計	教職員数	
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8	16 ※校長・教頭を含む	
児童生徒数	18	13	16	18	25	26	10	126		
連携先 <small>(文化財所有者等)</small>	浄瑠璃寺・岩船寺・当尾の石仏									

2 研究校の概要

【加茂ブロック3小】

- ・加茂地域は、木津川市内でも最も文化財が多く存在する地域である。史跡恭仁宮跡のような遺跡や浄瑠璃寺・海住山寺・岩船寺など国宝・重要文化財指定の建造物や美術工芸品を有する社寺等がある。
- ・少子高齢化・過疎化により地区での文化財の保存管理、後継者不足により適切な文化財の保護・継承が危惧されている。
- ・加茂地域では、3小学校から1中学校に入学するが、各小学校の児童数の減少がみられる。その事象を踏まえ、多様な学習形態や3小1中で、系統性のある体験学習の機会を設けることにより、学力の向上や教員の指導力、授業力の向上を目指している。(加茂小 学年1～2学級、南加茂台・恭仁小 学年1学級)
- ・これまでに地域を教材とした「地域学習 ふるさと絆学」を小中学校9年間での系統的な取組として、各校で実施してきた。
- ・3小1中一貫で、系統性を大切にした教育を目指し、合同研修の実施や授業交流、教育課程また「ふるさと絆学」の単元計画等の交流などを積極的に実施している。
- ・中学校ブロックでは、一人一台タブレット型端末を効果的に活用した授業づくりに積極的に取り組んでいる。

【研究体制等】



3 主な研究活動

【研究主題】「郷土・人・地域社会とつながり、主体的に未来を生き抜く児童の育成」

学習課題	地域の良さを知り、その良さを生かすにはどうしたらよいだらう		
学校規模	加茂小 (全校 244名) 6年: 52名	恭仁小 (全校 48名) 6年: 9名	南加茂台小 (全校 126名) 6年: 28名
学習課題	ふるさと再発見!	みかのはらの歴史再発見!	当尾文化財 PR 大作戦!
文化財	大仏鉄道	恭仁京跡	浄瑠璃寺・岩船寺・当尾の石仏
外部人材	<ul style="list-style-type: none"> ・大仏鉄道研究会 ・奈良国立博物館 ・木津川市観光協会 ・鉄道煉瓦構造物調査研究 ・市文化財保護課 	<ul style="list-style-type: none"> ・山城郷土資料館 ・みかのはらまちづくり協議会 ・奈良国立博物館 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと案内人 ・浄瑠璃寺・岩船寺住職 ・奈良国立博物館 ・お話ポケット ・木津川市文化財保護課

【各校の取組】

	加茂小 『ふるさと再発見！』	恭仁小 『みかのはらの歴史再発見！』	南加茂台小 『当尾文化財 PR 大作戦！』
取組目標	地域の歴史や文化を調べ、その魅力を地域の方や他地域の方に発信することを通して、郷土のよさを再認識するとともに、将来にわたって地域を愛する気持ちを育成する。	地域の歴史や史跡、地域の人々の思いを知って地域の良さや課題を再認識するとともに、課題を主体的・協働的に解決しようとする態度や郷土を大切にする気持ちを育成する。	地域の歴史を調べ、他へ発信していく活動を通して、地域の良さ、特長などを再認識するとともに、地域の文化財を大切にすることを育成する。
P R	大仏鉄道パンフレットを作成し、木津川市観光協会に配架した。	恭仁宮の魅力を伝えるプレゼンテーションを作成した。 児童による来訪者に対する広報活動や、HP や掲示物を使った発信した。（平城宮跡公園、恭仁宮、南山城道の駅、お茶の京都）	きらきら当尾文化財まつり（当尾を再現：ポスター、ちらし、動画制作、クイズ等）」を校区保育園・保護者・地域等を招待し、説明披露した。 文化財周辺清掃活動を実施した。
進め方	文化財のフィールドワークや、外部人材からの講話を受けて、大仏鉄道の現状や課題を把握した。その課題を解決するため、グループに分かれ、様々な方法でアプローチを図った。	文化財のフィールドワークや外部人材の出前授業を通して、文化財保有者が抱える課題に対する実現可能な解決方法を、ターゲットを焦点化し話し合った。また、実際に課題解決に向けての活動を行う中で、より効果的な方法について話し合い、山城郷土資料館館長様にも1年を通して関わっていただき、改善を行いながら発信を行った。	文化財に関わる事前学習（言い伝え読み聞かせや調べ学習）、現地での所有者インタビューを通じて、文化財所有者の課題を把握し、グループでその課題に対する解決方法やターゲットを焦点化し、学習を進め、ターゲットに応じた発信を行った。
様子			

【各校の交流】 9月：オンライン交流（年1回）



第1回は、各学校の取組の交流（進め方や進捗状況）をオンラインで行った。

2月：加茂ブロック小中学校 総合的な学習の時間 学習発表会（年1回 加茂文化センター）



第2回は、3小の6年生及び中学校1・2年生があじさいホールに集合し、「絆の作り手育成プログラム」と小中一貫教育のコラボレーションによる各学校の学習のまとめを発表した。教育関係の方々やお世話になった地域の方々もお招きし、成果・課題を報告でき有意義であった。

4 今年度の研究の成果と検証

【児童】

- ・今年度も昨年度と同じく、文化財保有者の悩みを把握し、課題解決のためのターゲットの焦点化などを実施していくことで、より児童の主体的な活動につながった。
- ・文化財のフィールドワークや外部人材へのインタビュー、発信のための協力等を通して、地域の人々と交流し、郷土の良さや課題に気付き、継承についての意識を高めることができた。
- ・自ら課題を設定し、その解決に向け情報の収集や整理・分析をしたり、仮説を立て検証したり、まとめ・表現したりする課題解決型の学習を通して、思考力や判断力が養われた。
- ・検証するためにアンケートをとる、再度インタビューを行う、実際にやってみる等、繰り返しフィードバックしながら改善を図ることができた。
- ・発信方法が多岐になり、ポスターやちらし、パンフレットのみならず、HP やガイドブック、動画や劇、キャラクター制作、地域を教室に再現するなど、ターゲットに応じた方法を工夫することができた。
- ・3小学校と校区の中学校が交流することで、学習の系統性や成果・課題等を共有することができ、多様な人と交流したり協働したりする中で、小中の連携につながる新たな価値を創造し個性を伸長することができた。
- ・3小1 中学校の交流内容が文化財の紹介にとどまらず、学習過程や課題の解決策、フィードバックや成果と課題など、1年間の学習を振り返った内容で学びを確認することにつながった。
- ・ICT 機器や思考ツールを活用した話し合い活動の充実を図ることにより非認知能力の向上につながった。また学習で培われた非認知能力を他教科でも発揮する児童が多々見られた。
- ・学習したことを次の学年に引き継ぐ取組を各学校で実施するなど学習の積み上げにつながった。

【学校・教職員】

- ・「絆の作り手育成プログラム」ワーキング会議（年間4回）を開催し、総合的な学習の時間（地域学習「ふるさと絆学」）を軸とした小小連携や小中一貫カリキュラムの編成・整理に着手することができた。
- ・課題解決型の学習についてキャリア教育コーディネーターを招聘して研修し、学習の基本的流れや必要なスキル、各学年で付けたい力等を学び、カリキュラムの改善を図ることができた。
- ・京都府教育委員会や山城教育局指導主事からの指導助言により、授業への取り組み方や指導方法等の改善点が明確になり、今後の見通しを持つことができた。
- ・山城郷土資料館と連携し、資料館を訪問したり、講師として招聘し歴史や史跡についての話を聞いたりすることを通して、学びを深めることができた。

【家庭・地域社会】

- ・文化財を通して地域とつながり、文化財をアピールする取組（ちらし、ポスターの作成、改善策の考案等）や課題に対する解決策の発信等を通して、市内のみならず広域地域との関わりを深めることができた。

5 今年度の課題

- ・地域の歴史や文化財について学ぶ地域学習「ふるさと絆学」の体験学習や学習活動（学習過程）等、系統的なカリキュラムのさらなる整理・編成が必要である。
→ワーキング会議を中心に小中連携の視点を踏まえながら進めていく。
- ・文化財の所有者や継承・保存に尽力されている団体等が抱える課題を把握し、ターゲットを焦点化した実現可能な解決策の仮説を立て、検証しながら実行していく力を向上する。
→情報活用能力の育成を図り、個別最適な学びや協働的な学びを充実し、整理・分析、仮説・検証、まとめ・表現する力等、課題解決型の学習を通して認知能力や非認知能力を一体的に育成する。

6 研究成果の活用について

- ・事業は今年度で終了するが、この取組の成果はこれからの社会を生きる子どもたちに必要な力を育成するものと認識し、今後もワーキング会議を中心に小小連携、小中連携も視野に入れたカリキュラムの編成・整理を継続する。
- ・『京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～』の結果をもとに、成果と課題を取り入れた課題解決型の授業の充実を図り、認知能力や非認知能力を一体的に育成に努める。

木津川市立加茂小学校

ふるさと再発見！

～大仏鉄道の魅力をみんなに～

学習のあしあと

- ① テーマとの出会い
- ② 木津川市の文化財と課題について
- ③ 大仏鉄道の調査（自分たち）
- ④ 大仏鉄道のフィールドワーク
（外部→大仏鉄道研究会）
- ⑤ 大仏鉄道の歴史について
（外部→大仏鉄道研究会）

6年「ふるさと再発見！」

【学習課題】

- ① 地域の人に地域にある文化財の魅力を伝えよう
- ② 文化財を残していくために自分たちにできることを考えよう

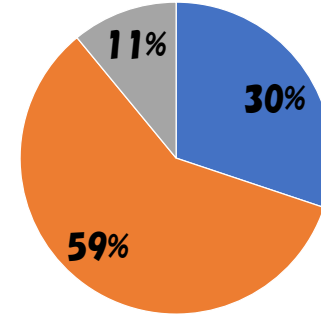
大仏鉄道フィールドワークより



保護者にアンケート



大仏鉄道のことを知っているか



■ よく知っている ■ 名前だけ聞いたことがある ■ 知らない

【課題設定の過程】

大仏鉄道を知らない人が多いことが分かった。

◎もっといろいろな方に大仏鉄道を知ってもらおう。

そうすれば、大仏鉄道の遺構をずっと残していけるのでは!?

課題解決のための方法「だれに？」

○もっといろいろな方に大仏鉄道を知ってもらおう。

「だれに？」

- ①保護者
- ②小学生
- ③地域の人々
- ④他の地域の人々

＋大仏鉄道研究会からのアドバイス

複数回の「検証」でブラッシュアップ

地域の人に大仏鉄道を知ってもらう(先生)



地域の人に大仏鉄道を知ってもらう(保護者)



地域の人に大仏鉄道を知ってもらう(下級生)



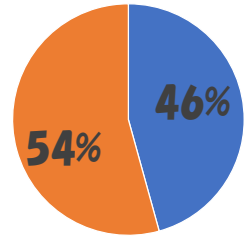
地域の人に大仏鉄道を知ってもらう(下級生)



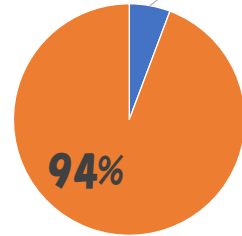
アンケート結果（活動の効果）

【大仏鉄道のことを知っているか】

発表前



発表後 6%



■ 興味なし ■ 興味あり ■ 興味なし ■ 興味あり

この学習を通じて身についた力

- ・ 継続する力
- ・ 協力する力
- ・ 積極的に動く力
- ・ プレゼンテーション力
- ・ 工夫する力
- ・ 改善する力

学習を通じて・・・

- ・他のことでも友だちと協力して1つのことを成し遂げたい。
- ・他の教科やこれからの学習にも活かしたい。

活動を通じて考えた文化財との関わり

- ・ 僕たちは、大仏鉄道を未来に残していって加茂町の自慢の文化財にしていきたい。
- ・ 文化財には様々な知られざる魅力があることを知ったので、京都府内の文化財についても調べてみたいと思った。
- ・ もっと早くこの木津川市の歴史・魅力あふれる文化財と出会いたかったと感じた。
- ・ 文化財は今日まで残されているのは、残そうとしている人が努力したからだとわかったので、これからも残していきたい。

学習を通して見られた児童の変容

- もともと文化財に興味がなかった児童が、学習を通して興味を持ったり、他にもっと調べてみたいと思ったりできた。
- 自分たちで計画を立ててそれ通りに進めることや、時間通りにいかない場合にいらぬ部分を省いて進めるような調整力が身についた。
- 発表する相手によってクイズを入れたり言葉遣いを変えたりするなど、相手意識を持ったプレゼンテーションが出来るようになった。
- それぞれが得意なことや能力を出し合って、苦手なところは助け合いながら作業を進めることができていた。
- ▲グループの人数が多いと他の人に任せきりになっている児童がいた。

当尾文化財PR大作戦！

木津川市立南加茂台小学校

令和5年度 6年生

①昨年度の6年生から



②当尾の伝説について知る



石室のお不動さん

当尾のかわにな

一原不動さん



ずんどぼろう



その他にも!

眠いん

笑いん

おはなしボカットさんにご協力いただき、
当尾にまつわる言い伝えを教えてくださいました。

③見学に行く前に予想する。

当尾PR大作戦!

④ インタビューの内容を考えよう。

見つける

課題を見つける。

思い出そう

当尾の文化財についてPRできそうなこと。

仏像, 歴史, 寺(あじさい)

地蔵(言い伝え)

考えよう

文化財の所有者が困っていることは何か?よ。

(予想)

災害の時の被害で文化財がこわれる。

そうじが大変。(はん田が広い)そう。

老きゅう化。(人手) お寺が古くなっている。

地蔵の管理は大変そう。

観光客の数が少ない。

せつうの被害(防犯)に気がきいてはいないか?

ネコのしつけ。

④見学に出発!



⑤見学からの課題

問題点

- ①地域との関わりがうすい。
- ②お寺の落ち葉そうじが大変だ。

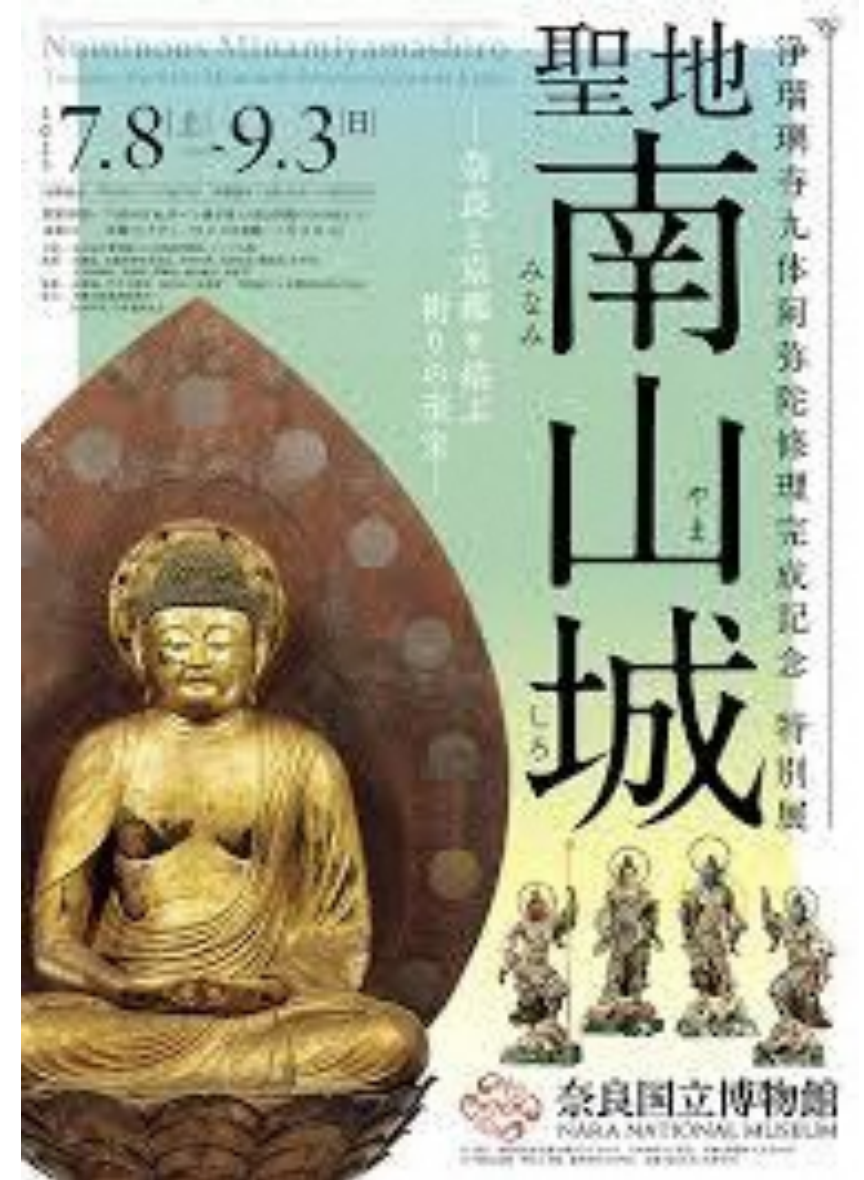
⑥課題解決のための取組

課題

①地域の人たちに興味をもってもらおう

②お寺をそうじをしよう

⑦奈良博の見学から



特別展見学後のふりかえり学習

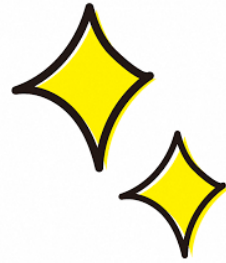
より文化財の
魅力を感じれた。

学べる**機会**がある
とやっぱりいい！

奈良博みたいなものができたら・・・
あっ！！！！



きらきら



当尾文化財祭り

⑨ 浄瑠璃寺庭園 あ志び乃店かやぶき家屋改修工事見学



⑩ | / 3 | きらきら当尾文化財祭りに向けて ～グループに分かれて活動～

Yahoo!JAPAN

Google

木津川市

木津川市ホームページ

木津川市の天気

不登校児童・生徒支援

言語選択

言語の選択 :

日本語

QRコード



【きらきら当尾文化財祭り】

南加茂台小学校6年生は、当尾地区にある岩船寺と浄瑠璃寺に行き、岩船寺は、重要文化財の阿弥陀如来座像があり、浄瑠璃寺は、国宝の九体阿弥陀仏と重要文化財の薬師如来像があり、2つのお寺の共通点は、お寺や仏像それに石仏があまり知られていないことでした。

それで、奈良国立博物館に行ったことをヒントにしてこの企画を行いました。この企画を行ったのは、お寺についてあまり知らない人がいるから、また地域の人達に興味を持ってもらうからです。そのため、きらきら当尾文化財祭りを開くので、ぜひ来てください。

詳しくは
本校HPを
ご覧ください



歴史班

クイズやポスターを作っています。
詳細はこちら！

[歴史班.pdf](#)



映像班

住職インタビュー動画を作っています。
詳細はこちら！

[映像班.pdf](#)



宣伝班

ホームページなど作っています。
詳細はこちら！

[宣伝班.pdf](#)



製作班

三重塔や仏像などを作っています。
詳細はこちら！

[製作班.pdf](#)

| あ げ

① 1/31 きらきら当尾文化財祭りに向けて

～いろいろな人からアドバイスをもらい、改善を繰り返しました～

住 職

保育園の年長

**南加茂台小の
1～5年生**

南加茂台小の先生たち

相楽地方の先生方

矢野さん

⑪ 1/31 きらきら当尾文化財祭りに向けて

～いろいろな人からアドバイスをもらい、改善を繰り返しました～

南加茂台小の
先生たち



相楽地方の先生方



矢野さん



① 1/3 | きらきら当尾文化財祭りに向けて

～いろいろな人からアドバイスをもらい、改善を繰り返しました～

南加茂台小の
1～5年生



① 1/31 きらきら当尾文化財祭りに向けて

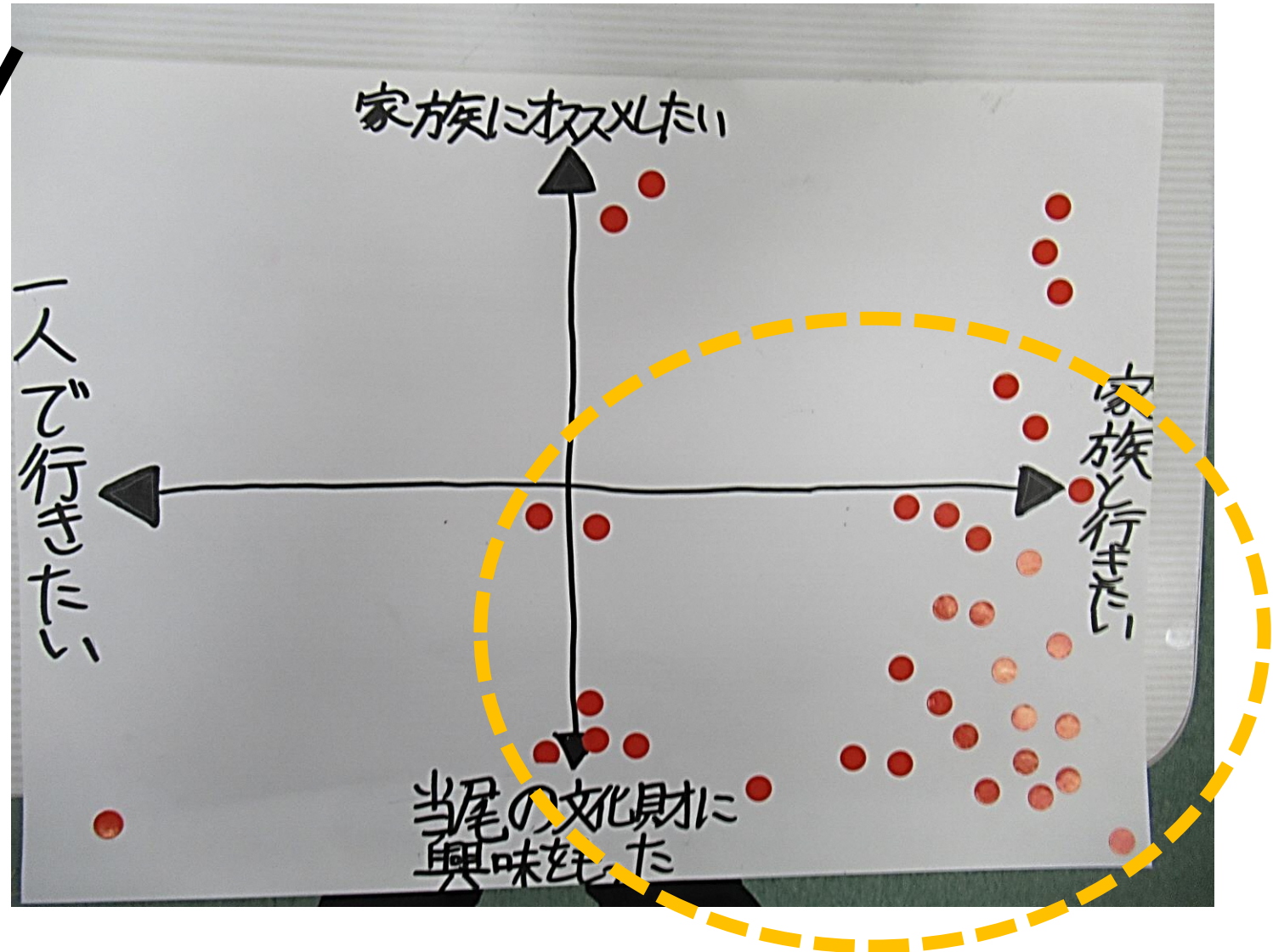
～いろいろな人からアドバイスをもらい、改善を繰り返しました～

保育園の年長



⑫ 1/31 当日 きらきら当尾文化財祭り

241名 参加!



⑬ 課題解決2 寺の清掃活動（浄瑠璃寺）



⑭ 課題解決2 寺の清掃活動（岩船寺）



Before



After

⑭ 活動を通じて考えた文化財との関わり

- なくてはならない存在になった。
- 今までの歴史を感じられることができ、その歴史があったからこそ今の私たちの生活につながっていると考えるようになった。
- 学習を通じて、文化財の歴史の素晴らしさを知り、これからずっと守っていききたい。
- 今の僕にとっては守り抜かなければならない存在
- 学んだことをいろいろな人に伝えていきたい。

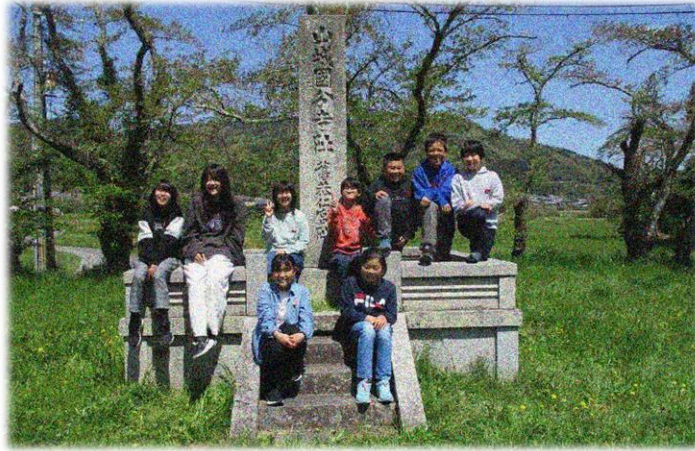
⑮ この学習を通じて学んだこと・生かしていきたいこと

- 説明する力や周りとは話し合う力が身につきました。また自分の考えを持つことの大切さがわかった。
- 課題を解決するために話し合い、何回も改善策を考えていくことの楽しさを感じた。
- 自分の考えを持ち、周りに伝えることができるようになった。
- 人の話をしっかり聞くことの大切さ、周りの人からアイデアをもらってよりよいものを作る楽しさを学んだ。
- 周りの意見を受け入れ、自分の考えを広げる力が高まった。
- ゴールを見通して行動することの大切さを学んだ。
- あきらめず最後までやりきる力が高まった。

学習を通じて、身についた力が・・・

- 他の教科や行事に生かすことができるようになりました！
- 中学校でもいかしたい！ ・もっといろいろな力をつけたい！
- これからも課題に対して身につけた力で解決策を考えていきたい！

絆の作り手育成プログラム研究校 Web交流会



木津川市立恭仁小学校 6年 「みかのはら歴史再発見」

ふるさと=みかのはら

→大好きな恭仁宮跡について取り組みたい

フィールドワーク

<恭仁宮跡> (2回)

<くにのみや学習館>

松本さん

学校の裏に大極殿が建っているCG画像や発掘された瓦



<山城郷土資料館>

企画展『恭仁宮と神雄寺』見学

館長の福島先生

恭仁宮ができた理由や歴史



大極殿を囲んでいた廊下のあと

いつも遊んでいる恭仁宮跡が、歴史がある重要な場所であることが分かった



恭仁宮跡 の 歴史や魅力

こんなにすばらしい場所なのに、
あまり人が来ていない

くにきゅうせき かだい
恭仁宮跡には課題があるのだろうか。



山城郷土資料館館長
福島先生
出前授業

恭仁宮跡「日本の都＝首都だった」大切な史跡

保護しながら、活用していかなければならない。
重要で貴重な恭仁宮跡を、たくさんの人に知ってもらいたい。
日本中や世界中から、たくさんの人に来てもらいたい。

↑
恭仁宮が知られていない。
管理にとってもお金や手間がかかる。
加茂駅からのアクセスが悪い。

「お金」や「人手」がたくさんかかる

＜仮説＞
 自分たちと同じ子ども達に
 恭仁宮跡のプレゼンテーションを行い
 恭仁宮跡を知ってもらうことで、
 恭仁宮跡に来てくれる人が増えるのではないか。

4・5年生にプレゼンテーション



▲難しい言葉や歴史ばかり



3年生へプレゼンテーション



恭仁宮跡の
 魅力がうまく
 伝わらなかった

「まぼろしの都」とよばれる恭仁宮 まだ知られていない恭仁宮跡の魅力

なぜ聖武天皇はみかのはらを都に選んだのか
 はやり病などで大変な時代
 仏教の力で平和に
 平城宮と恭仁宮のつながり
 大極殿が学校の裏手に建っていた
 大極殿の基壇、山城国分寺の七重の塔の石段(さわれる)
 季節ごとの景色
 周辺の施設



2年生
3・4年生に
協力して
もらいました。



わかりにくいところを説明、修正



山城郷土資料館福島館長にも
見ていただき、
さらに内容を直し



恭仁宮跡でプレゼンテーション



平城宮跡歴史公園

神戸市から来た小学生に

平城宮いざない館

高槻市から来た小学生に



恭仁を
活気づけ隊



恭仁宮跡を
広め隊



まぼろしの都を
知ってもらい隊



一般の方
にも



手作りのしおりや
パンフレットを
プレゼント



3・4年生が
育てた
コスモスを
分けてもらい、
押し花にして
しおりを
作りました。

今日11月24日午前 恭仁宮跡のイベントでプレゼンテーション



現在の活動（プロジェクト2nd）

○内容をさらに見直しPR活動

授業参観で6年生保護者にPR活動

「道の駅 お茶の京都みなみやましろ村」にてPR活動



○PR資料を掲示用に修正し展示

山城郷土資料館

平城宮跡歴史公園いざない館

道の駅 お茶の京都みなみやましろ村

お茶の京都DMOホームページ

など



活動を進める中でどんな力がついたか (児童の振り返りより)

- この活動をする前は、実行しないままあきらめていたけれど、どんどん活動をしているうちに、緊張もしなくなったり、挑戦することができるようになりました。
- 計画を実行し、さらに活動内容を改善してまた実行する、という活動を続けていく力がつきました。
- 時間や伝えたい内容、伝える相手を見極めて、プレゼンテーションの内容や話し方を考えたり、アレンジやアドリブを入れたりすることができるようになりました。
- 伝えたい相手に伝えたい内容を厳選して伝える力がつきました。
- 友達と計画的に話し合いを重ねたり、自分から発言したりする力がつきました。

みかのはらの文化財のためにどんなことができるか (児童の振り返りより)

- 子どものうちは直接力になることは難しいかも知れませんが、今やっているように、観光で来た人に解説をすることが効果的だと思います。何でも挑戦してやってみることが、来てくれる人を増やすことにつながると思います。
- 今やっているプレゼンテーションを続けて、将来的には日本中、世界中の人が来てくれるような場所にしたいです。自分たちで活動を広げて、次の6年生がやりやすいようにすれば、後を引き継いで続けてもらうことができると思います。
- 文化財を保護し、忘れられないように次の世代に受け継いでいきたいです。
- 大人になったら、恭仁宮跡だけでなく京都府の魅力や文化財を紹介して知ってもらう活動をしたいです。
- 恭仁宮跡だけでなく、山城郷土資料館などみかのはらの歴史に関わる場所・物をこれからも大切にしたいです。
- 文化財が人々の記憶に残る物ややり方を考えて活動していきたいです。

学習を通して見られた児童の変容

- みかのはらの文化財の歴史的価値やその現状、文化財に関わる方々の思いに触れ、生涯にわたってみかのはらや京都府の文化財を保護し、PRしようという思いを持つようになった。
- まず計画・実行し、内容を改善してまた実行するという活動を何度も重ねる中で、自分たちの活動の良い点と課題点を振り返り、さらに良い活動につなげる探究的活動が身に付いた。
- 時間や伝えたい内容、伝える相手を見極めて、内容や話し方を考えたりアレンジやアドリブを入れたりすることができるようになった。
- PRのために有効な情報や活動を取捨選択し、適切な発信の仕方を考えられるようになった。
- お互いが自分の考えを伝え合いながら、深まりのある話し合いができるようになった。
- まずは計画し、できることから挑戦してみようという前向きな思いをあらゆる活動で持てるようになった。
- さまざまな場所でPR活動を行ったり、PR資料を掲示していただいたりする経験を通して、自分たちの活動や恭仁宮跡に対して自信を持ち、さらに意欲的に活動することができた。
- ▲やりたいことと実現可能な活動、必要な活動の区別をすることが難しかった。
- ▲時間内に計画的に活動することができず、時間が足りなくなる場面が見られた。

ありがとうございました。



木津川市立恭仁小学校 6年

第6学年 総合的な学習の時間 単元計画

木津川市立加茂小学校

単元名	ふるさと再発見！	探究課題	地域の伝統や文化とその継承
-----	----------	------	---------------

単元目標	地域の文化財を調べたり、それを保護する人々と関わることを通して、文化財が抱える課題を様々な方法で解決することができる。		
------	---	--	--

本単元で育成を目指す資質・能力	
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 文化財には未来につなぐ担い手が必要であることがわかっている。 調査活動を、目的や対象に応じた方法で実施している。 地域の文化財に関する理解は、地域の魅力を広めるために解決すべき課題について探究的に学習してきたことの成果であることに気づく。
表現・思考力等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化財への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。 課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積することができる。 課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し、解決方法を考えている。 相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。
人か学問うび性力に等、向	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向け、自分のよさに気づき、探究活動に進んで取り組んでいる。 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合っている。 地域との関わりの中で自分にできることを見付けている。

単元の指導計画

小単元 時数	小単元1 時間	小単元2 時間	小単元3 時間	小単元4 時間
探究課題	10h	15h	20h	15h
学習過程	木津川市の文化財を知ろう	大仏鉄道について調べる	大仏鉄道と〇〇をつなげよう	未来につなげよう
課題の設定	○木津川市には、様々な文化財があるが、保護する人や担い手が少なくなっていることに対して自分たちにできないか考える。	○大仏鉄道について調べる計画を立てる。 ★→ <u>現地に行く、詳しい方(大仏鉄道研究会)に協力してもらうなど</u>	○大仏鉄道とみんなをつなげるためには、どうすればよいかを話し合う。 *「誰に」「何を」伝えるのかを考えさせる。 ★→ <u>グループに分かれ(6+5グループ)、活動</u>	○学習を振り返り、文化財を守り、未来につなげるために自分ができることは何かを考える。
情報の収集	○木津川市や加茂町にはどのような文化財があるかを調べる。 ○木津川市の文化財保護課などの文化財に関わる方々の願いを調べる。 ★→ <u>文化財保護課・小林さんへのインタビューを観る。</u>	○大仏鉄道について、インターネットや本を使って調べる。 ○文化財保護課の方や大仏鉄道研究会の方をゲストティーチャーに迎え、現地調査をする。 ★→ <u>フィールドワーク(内田さん、難波さん、大仏鉄道研究会)</u> ○アンケートで大仏鉄道の認知度や興味関心、訪問状況を調べる。 ★→ <u>参観日に全校の保護者にお願ひし、QRコードでアンケート。</u>	○さらに必要な情報の収集する。 *関係機関に協力をお願いする。 ★→ <u>内田さん、難波さん来校</u> ★ <u>元機関士さんの話</u> ★→ <u>観光協会(大佛汽茶)へ訪問</u> ★ <u>小間安さんへ協力依頼</u> ○表現の仕方について情報を収集する。 ○加茂3小WEB交流	○再度、アンケートを取って大仏鉄道の認知度や興味関心、訪問状況について調べる。
整理・分析	○調べた情報の中から、どの文化財の抱える課題を解決するかを決定する。 ★→ <u>今年度は、「大仏鉄道」について、取り組んでいくことを決定。</u>	○調べた情報を「歴史」「現状」「魅力」などに分類する。	○グループでまとめ方を決定し、どのような工夫が必要かを考え準備を行う。 ★→ <u>グループ間で視察、お悩み相談、アドバイス→修正</u> ★→ <u>内田さんの協力</u> ★→ <u>中間報告会→感想・アドバイス→修正</u> ★→ <u>評価の視点を決める(各クラス)</u> → <u>自分達で自分のグループを評価した上で活動を進める</u>	○これから自分にできることについてまとめる。 ○1年間の学習を通して、感じた自分の成長についてまとめる。
まとめ・表現	○文化財保護課の方の願いに対して、自分たちには何ができるか、学習計画を立てる。 ★→ <u>文化財保護課・小林さん来校。文化財についての話を聞く。</u>	○大仏鉄道の歴史や現状、魅力についてまとめる。	○まとめたものを友だちや関係する人(木津川市文化財保護課・大仏鉄道研究会・教師など)に見てもらい、アドバイスをもらう。 ★→ <u>保護者へのプレゼンテーション→アンケート</u> ★○アドバイスをいかしてブラッシュアップする。 → <u>全校の児童へのプレゼンテーション</u>	○泉川中・加茂3小交流会で発表する。(関係する方を招く)
振り返り	○文化財の抱える課題を解決するためには、まず自分たちが文化財について詳しく知らなければならない。 ○文化財を地域の人に知ってもらいたい。	○大仏鉄道の歴史や概要についてよく知ることができた。 ○大仏鉄道を未来に残していくには、どのような方法がよいのだろうか。	○もっといろいろな人を知ってもらいたいな。 ○大仏鉄道とみんなをつなぐことができた。	○文化財には未来につなぐ担い手が必要であることがわかった。 ○これからは地域の一人として、文化財に関心を持ち続け、担い手になりたい。

連携機関 地域人材等	木津川市文化財保護課 小林さん 72-0501 大仏鉄道研究会 難波さん 内田さん 長田さん 0742-23-4934	小間安老舗 畑山さん 76-3121 元機関士 岩本さん 76-3331	
---------------	--	---	--

総合的な学習の時間の目標		「ふるさと」である南加茂台小学校区を学びの場とすることで、地域文化財のよさや素晴らしさに気付き、ふるさとを愛する気持ちを育てる。												時数																																												
月	4月				5月				6月				7月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月				合計													
週	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	58														
地域や学校の特色に応じた探求課題「ながも」	「当尾文化財PR大作戦」～(58h) 見つける・整理する → 調べる・(やってみる) → まとめる・つなげる																																																									
	～課題発見編～(11h) 【見つける】③ *当尾について考える③ (課題はあるの?) *当尾の言い伝え③ 【調べる】⑥ *見学して調べよう!⑥ 【整理する】② *見学から分かったこと 【まとめる】② *問題点と課題の決定														～課題解決編～(18h) 【見つける】⑤ *解決のための方法決定 (だれに・どのようにして) 【調べる】【整理する】③ *調べ学習 *資料整理 【まとめる】⑤ *ポスター、ちらし、動画、劇、クイズ、ホームページの作成 【伝える・つなげる】 *取組の発表⑤ (9/14合同発表会、9/21参観) → Formsによる評価														～取組の実行編～(9h) 【見つける】① *2回の発表から課題を見つける 【調べる】【整理する】③ *改善策を考え、実行する *文化財所有者による評価 【まとめる】④ *改善したものを作成する 【伝える・つなげる】① *成果物を発表する *Formsによる評価														～まとめ編～(20h) 【見つける】① *成果物に対する評価を集める 【調べる】【整理する】① *評価の分析を行う *取組の成果と課題、改善策を考える 【まとめる】⑤ *PowerPointを使って、発表の準備をする 【伝える・つなげる】 *改善しながら何度も発表する⑩ (1/31授業参観、2/6合同発表会、3月に5年生へ)															
																																											12月 2h 寺の掃除															

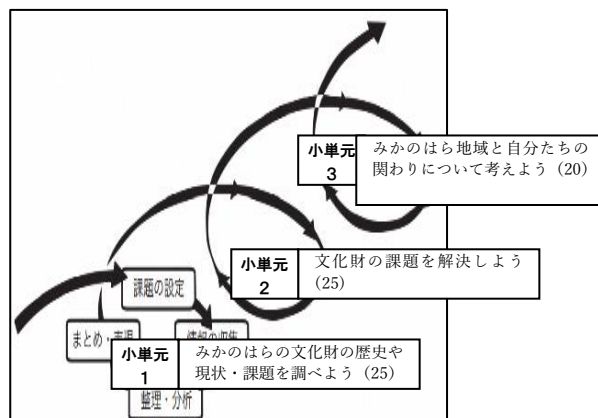
1 単元名：第6学年「みかのはら歴史再発見」（70時間扱い）

2 単元の概要

本単元は、全体計画に定めた「地域の伝統や文化とその継承」を踏まえて構想した単元である。

本校の地域では、国宝や重要文化財、史跡など多くの文化財があり、地域住民はその維持や管理・魅力の発信について積極的に活動している。一方で児童は文化財の存在については認識しているものの、その歴史的価値について学ぶ機会が少なく、維持に関わる人々の思いについて触れる機会もなかった。

文化財について学び、文化財に対する地域の方々の思いが、地域を守り存続させたいという思いにつながっていることを知ると共に、自らも地域の一員として文化財の保護や維持について考え行動できるようにすることをねらったものである。



3 単元目標

地域の文化財を守る方々と関わる活動を通して、自分が住む地域の歴史や受け継がれてきた伝統文化のよさが、地域の魅力であることに気付き、文化財の保護や伝承について考えると共に、地域の一住民として地域を大切にし、自らの生活や行動に生かそうとする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力、人間性等
①地域には、恭仁宮や海住山寺など国宝・重要文化財、有名な史跡が数多く有り、それらの歴史的価値について理解している。 ②文化財について大切にしている人々やその人々の思いを理解している。 ③相手や場面に応じた適切な手法で調査活動を実施している。 ④地域の方の文化財に対する思いへの理解は、文化財についての課題解決型の学習を探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	①地域にある文化財について、現状と人々の願いとの隔たりから課題を設定し、解決に向けての方向性を見通している。 ②調査手段を選択しながら課題の解決に向けた情報を、収集している。 ③文化財の課題を解決するために、必要な情報を取捨選択し、課題解決に向けて考えている。 ④活動を通して学んだ文化財の抱える課題を踏まえて解決方法を考え、伝える相手や目的に応じて適切な方法でまとめ、表現している。	①活動を通して、自分と地域や文化財の保護に取り組む人々との関わりを見つめ直そうとしている。 ②地域や文化財の課題を解決する取組を実行する中で得た知識や友達の考え、地域の方々の考え方を活かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 ③課題解決に向けた自分の学習過程を振り返りながら、文化財の課題解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。

5 単元の指導と評価の計画

小単元名 (時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
みかのはらの文化財の歴史や現状・課題を調べよう(25)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恭仁宮の歴史や恭仁宮跡について調べる。 ・ 恭仁宮跡や施設を見学したり、恭仁宮跡に関わる人々の思いを聞いたりする。 <p><くにのみや学習館・山城郷土資料館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見学や調査から分かったことを整理し、文化財や史跡を取り巻く課題の現状を明らかにする。 ・ 課題解決に向けて、仮説を設定する。 仮説：自分たちと同じ子ども達に恭仁宮跡のプレゼンテーションを行い恭仁宮を知ってもらうことで、恭仁宮跡に来てくれる人が増えるのではないか。 	③	①		<ul style="list-style-type: none"> ・ ノートの記述 ・ 発言内容 ・ 行動観察
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮説を元に、課題を解決するためのアイデアを出し合う。 <p>(恭仁宮跡を中心とした親子向けのクイズラリーやスタンプラリーの作成、パンフレットの作成(日本語・外国語)、ポスターの作成、子ども向けのプレゼンテーションを作製しPR活動をする、写真を撮って渡す、など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アイデアの中から課題解決に向けて効果の高そうな「子ども向けのプレゼンテーションを作製し、3班に分かれてPR活動をする」を実行。<4・5年生、3年生に> 	②	③		<ul style="list-style-type: none"> ・ ノートの記述 ・ 発言内容 ・ 行動観察
文化財の課題を解決しよう(25)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実行結果を振り返り、恭仁宮跡の魅力を再検討し厳選、全員でプレゼン資料を作り直す。 ・ 恭仁宮跡に関わる山城郷土資料館福島館長にプレゼンテーション内容についての意見をもらい、整理分析する。 <p><山城郷土資料館></p>		①	①	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノートの記述 ・ 発言内容 ・ 行動観察
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他校との取組の交流から、自分たちの活動にも生かせそうな取組を考える。 	②		③	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノートの記述 ・ 発言内容 ・ 行動観察
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2～4年生にプレゼンを行い、アドバイスをもらいながら内容を修正・改善 	②		②	

	<p>する。<3・4年、2年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・恭仁宮跡に来られた方に直接 PR 活動を行う。 ・平城宮跡歴史公園いざない館で、見学に来た他府県の小学生に PR 活動を行う。 ・恭仁宮跡でのイベント『幻の都「恭仁宮-KUNIKYU-」Wabisabi Experience』で来場者に PR 活動を行う。 ・成果や課題を整理する。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・恭仁小感謝の集いで地域や保護者に発信する。(中間発表) <地域の方々> 			②	
みかのはら地域と自分たちの関わりについて考えよう(20)	<ul style="list-style-type: none"> ・山城郷土資料館、平城宮跡歴史公園いざない館にて PR 資料の展示を行う。 ・自分たちの活動を振り返ると共に、恭仁宮跡の保護の取組と今後の自分たちの関わり方について考える。 			④	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの記述 ・発言内容 ・行動観察
	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協働しなら、文化財の課題解決に向けた取組をまとめ、中学校区交流会で発表する。 ・他校の取組の発表から自分たちの活動を振り返る。<山城郷土資料館・木津川市文化財保護課、木津川市観光課> 	⑤	⑥		<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの記述 ・発言内容 ・行動観察

6 今年度の取組で良かった点、改善点

- ・くにのみや学習館、山城郷土資料館は距離が近く、活動しやすかった。
- ・地元の山城郷土資料館に何度もお世話になることができた。
- ・平城宮跡歴史公園で PR 活動をすることができ、次年度以降につなげることができた。
- ・恭仁宮跡でのイベントに参加することができた。
- ・府の文化財保護課の方にお話し、恭仁宮跡の発掘をすることができた。

7 来年度の方向性(案)

- ・恭仁宮跡を PR する活動、みかのはらの文化財を PR する活動、みかのはらの魅力を PR する活動など、大切なふるさとの魅力を見直し発信していく活動を続けていく。
- ・双方向的な発信の仕方も検討していく。

8 今年度 PBL を通して児童に付いた力や、今後付けて欲しい力

〈児童に付いた力〉

- 活動をしているうちに、まずは挑戦し、実行できるようになった。
- 計画を実行し、活動内容を改善してまた実行する、という活動を続けていく力がついた。
- 時間や伝えたい内容、伝える相手を見極めて、内容や話し方を考えたりアレンジやアドリブを入

れたりすることができるようになった。

○重要な場所で PR 活動を行うことで自信がつき、次への意欲につながった。

○友達と計画的に話し合いを重ねたり、自分から発言したりする力がついた。

○活動の見通しを持ち、計画的に活動することの大切さが分かった。

○これからもみかのはらや京都府の文化財を保護し、PR しようという思いを持つことができた。

〈今後付けて欲しい力〉

▲やりたいことと実現可能な活動、必要な活動の区別をする力。

▲時間内に計画的に活動する力。

9 今年度連携・訪問した地域人材、施設について、連絡先や窓口の方の氏名

施設	担当者名	連絡先	取り組んだ内容 (簡潔に)	時期
くにのみや学習館			見学	4月
山城郷土資料館			企画展見学 PR 資料掲示	5月 1月～
平城宮跡いざない館			来館者に PR 活動 PR 資料展示	11月 1月～
道の駅 京都みなみやましろ村			PR 資料展示 来店者に PR 活動	2月 2月